

観光文化スポーツ部  
10月4日

**質問**  
本年度「スポーツ合宿誘致のための宿泊費補助事業」を開始したが、執行状況と事業効果の分析について伺う。

**答弁 ■スポーツ課長**  
9月末現在の申請状況は件数で60件、補助金額で1,048万2,000円。予算額1,162万2,000円に対し、約9割の執行状況。観光や、地元とのスポーツ交流を通じ、県の魅力のPRやスポーツ振興の機会になっている。

**質問**  
宿泊事業者からも、好評だったことに加え、県の組織改編に伴い、観光文化スポーツ部となったことから次年度に向けて事業継続をしていただきたい。

**答弁 ■スポーツ課長**  
今後の新年度予算編成の中で決定されるが、今年度組織改正して開始した事業でもあるため、当課として来年度も引き続き実施する方向で予算要求を考えてまいりたい。

農林水産部  
10月5日

**質問**  
本県の基幹的農業従事者は約4万6,000人で10年前の約6割まで減少し、65歳以上が約7割を占めており、担い手確保が不可欠。  
本県の新規就農者の現状と確保対策について伺うとともに、移住者など農業に新規に参入する希望者の農地の確保のための、地域の受入態勢の確立も必要と考えるが所見を伺う。

**答弁 ■経営普及課長**  
県全体で280人の新規就農者確保を目標にし、近年この目標をほぼ達成している。『稼げる、かっこいい、感動する』を農業の新3Kとしてイメージアップと本県農業の魅力を伝えている。雇用の受け皿となりうる法人経営の基盤強化を図り、誰もが働きやすい環境づくりも支援している。  
新たに農業を開始する場合の農地の確保や、技術の習得には課題が多い。実践的な研修の実施、農地や住宅、住居情報提供、設備投資の負担軽減等により、地域での受入

**質問**  
国内のコメの需要量が減少する中、コメの輸出拡大がより重要になると考えるが、ターゲット国、相手国の市場、消費動向などを踏まえた取り組みが必要と考えるが県の取組状況を伺う。

**答弁 ■食品・流通課長**  
主要輸出先では日本の産地間競争も激化しており、新潟米のブランド化戦略が重要。ヨーロッパ、アメリカは新潟米が安定供給できるのが強みで、ゼロコロナ政策の中国は現地ECサイトと連携し春節時期にはギフト需要に狙いを定めている。ターゲット国、所得水準、消費行動など、一つ一つ吟味してプロモーションをかけている。

フォトダイアリー



新潟県議会インターネット中継

※録画中継は、その会議の会議録がホームページで公開されるまでの配信です。

一般質問 ▶



会議録の検索と閲覧 ▶



●小泉勝「県政レポート」は見附市内に新聞折込などでお届けしています。ご近所、お知り合いでご覧になっていない方がおられましたら、お届けいたしますので小泉事務所にお知らせください。

県政レポート

令和4年10月 Vol.13

新潟県議会議員 こいずみまさる

小泉勝

TEL:0258-62-1265 FAX:0258-62-7078 Eメール:kongetukoyoi@yahoo.co.jp 〒954-0046 新潟県見附市双葉町2-4 小泉勝事務所

『令和4年度補正予算』として可決されました。

新潟県議会  
令和4年9月定例会にて

◆肥料価格高騰対策支援事業◆

【補正額 923,346 (単位:千円)】

小泉の発言>

肥料、飼料をはじめ、幅広い農業資材の価格高騰が止まらず、農業経営を圧迫している。農業者に対する即効性のある支援が必要。

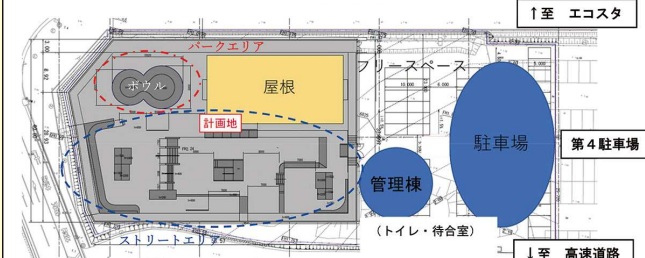
(令和4年6月1日 県民所得アップ対策特別委員会より)

◆鳥屋野潟公園のスケートパーク整備の追加見直し◆

【補正額 332,885 (単位:千円)】

| ■事業予算 |         | (単位:千円) |         |              |
|-------|---------|---------|---------|--------------|
| 内容    | R4.2月冒頭 | R4.9月補正 | 合計      | 備考           |
| 工事費   |         |         |         |              |
| 本體工   | 65,000  | 124,000 | 189,000 | スケートパーク本體    |
| 付帯設備工 | 0       | 198,700 | 198,700 | 屋根・管理棟・駐車場など |
| 合計    | 65,000  | 322,700 | 387,700 |              |
| 事務費   | 2,051   | 10,185  | 12,196  |              |
| 総事業費  | 67,051  | 332,885 | 399,936 |              |

■施設平面図



※現在スケートパークの設計を継続中であり、上記平面図のレイアウト等は変更される可能性があります。

〈鳥屋野潟公園のスケートパーク整備について〉  
令和4年10月4日建設公安委員会土木部資料より抜粋

小泉の発言>

スケートボードなどのアーバンスポーツを安全に楽しむことができ、若者たちが集まれる魅力的な居場所づくりとしての環境整備を図り、アーバンスポーツの推進を県としても強く後押しをすべき。

(令和4年3月2日 2月定例会本会議一般質問より)

◆県有施設の太陽光発電設備設置事業◆

【補正額 11,979 (単位:千円)】

小泉の発言>

今年度実施している屋根置き太陽光発電設備導入モニター補助事業について、この事業の成果を広く周知していただき、県内でさらに広げていただきたい。

(令和4年6月1日 県民所得アップ対策特別委員会より)

◆社会福祉施設等原油・原材料価格高騰等  
対応設備導入緊急支援事業◆

【補正額 50,490 (単位:千円)】

小泉の発言>

電気料金の値上げについては、幅広い業種で非常に大きな影響が出ており、福祉施設からも切実な声をいただいているが、電力を多く使う事業所に対しての支援が必要。

(令和4年6月1日 県民所得アップ対策特別委員会より)



# 新潟県議会 令和4年9月定例会 本会議

小泉 勝の一般質問 より一部抜粋 令和4年9月30日

## 1. 子育て環境の充実が不可欠！

**質問(小泉)** 人口減少対策として、子育て環境の充実は非常に重要であり、そのためには社会全体で支える仕組みづくりをより一層進めていく必要があると考えるが、所見を伺う。

**答弁(花角知事)** 一層充実させていくことが不可欠であることから、引き続き、企業や関係団体、市長村等との連携強化を図り、職場、保育、家庭、地域、それぞれの場面における対策を進め、社会全体で子育てを支える体制づくりに努める。

## 2. 教員確保に向けた取り組みを！

**質問(小泉)** 2022年度採用の公立小学校の教員採用試験倍率は全国で2.5倍と4年連続で過去最低となり、低倍率が続くことで教員の質の確保や教員不足が懸念される。本県でも、全国平均を下回る1.9倍であるが、今後の取組について伺う。

**答弁(佐野教育長)** 志願者数を増やしていくことが重要であり、大学生を対象としたガイダンス、オンライン相談会等、高校生を対象とした教員の魅力を伝える説明会などの取組を進め、受験しやすい環境づくりも検討していく。

## 3. 共生型サービスの整備促進に向けて

**質問(小泉)** 共生型サービスの取組は、効率を重視しながらも利用者のサービス向上を同時に図ることが必要であり、施設を運営する事業所としても収入が減るような仕組みでは、取組は拡大していかない。限りある人材を効率よく活用しながら、より充実した福祉環境整備のために、共生型サービスの在り方について所見を伺う。

**答弁(福祉保健部長)** 介護保険と障害福祉との間をつなぐもので、県としても整備を推進している。引き続き、地域共生社会の実現に向け高齢者や障害者に対し、一体的にサービスが提供されるよう、情報提供や施設改修補助など、事業所支援に取り組む。

## 4. 県北地域における豪雨災害について



▲8月14日 県北地域豪雨災害現地調査(村上市)



▲8月21日 県北地域豪雨災害ボランティア(旧荒川町花立)



▲9月10日 県北地域豪雨災害ボランティア(旧神林村川部)

**質問(小泉)** 1時間149mmという猛烈な雨量を観測し、24時間雨量は県内観測史上最高となる560mmと記録的な豪雨に見舞われながら、人的被害が最小限に抑えられたことは、地域の防災リーダーや消防団などによる適切な避難誘導が行われたことが一つの要因と聞いている。今回の対応を検証し、今後の取組に生かしていく必要があるが所見を伺う。

**答弁(花角知事)** 地域の自主防災組織や消防団などにヒアリングをし、市町村が出す避難情報と、住民の避難行動との関係性などについて明らかにするなど検証を進め、市町村との共有、県民意識啓発、リーダー研修などの取組に生かしていく。

**質問(小泉)** 知事は「国の3か年緊急対策を中心に進めてきた河川の河道掘削などによる防災・減災対策が効果を発揮し、河川の氾濫などが抑えられた」と述べているが、今後の防災・減災対策の進め方について所見を伺う。

**答弁(花角知事)** 激甚化・頻発化する自然災害に対応するため、引き続き、国の5か年加速化対策等の有利な財源を積極的に活用しながら、ハード・ソフト一体となった防災・減災対策を着実に進める。

**質問(小泉)** 山林の多くの箇所です砂崩れが発生し、土砂とともに立木が流木となって下流の集落などに流出したことにより、被害が拡大した。山地災害による被害を最小限に食い止めるため、今後の森林整備を含む治山対策について所見を伺う。

**答弁(花角知事)** 山地災害を最小限に食い止めるには、流木の発生や流出を抑制する治山対策を着実に進めていくことが重要。集落周辺の渓流を調査し、流木被害の危険性の高い箇所から現地の状況に応じて、計画的に間伐等による森林整備を進め、倒木除去や流木捕捉式治山ダム等の整備をしていく。

## 5. フリースクールの整備推進に向けて

**質問(小泉)** フリースクールは学校教育法で認められた学校ではないため、公的な支援は無く、このため、貧困家庭、ひとり親家庭など、経済的な理由でフリースクールに通うことが困難な家庭があるが、経済的支援について検討すべきと考えるが所見を伺う。

**答弁(佐野教育長)** 所在地域の偏りや補助対象の基準などの課題を共有し、支援の在り方について研究していく。スクールソーシャルワーカーを活用し、公的扶助の受給等につなげているが、十分に活用しているとは言えない学校もあるため、さらなる周知を進めていく。

フォトダイアリー



8/6 JICA世界のあいさつとあそび体験(新潟市)



8/7 フードバンクみつけ(エコアクションみつけ)



8/10 県警本部長着任挨拶



8/18 フードバンクみつけ仕分け作業



8/23 リベラル新潟政策研修会②



8/27・28 第9回アルビ杯見附近郷野球大会



8/28 第1回SDGs交流会



8/30 リベラル新潟政策研修会③



9/2 リベラル新潟行政視察